

ICカード不正使用で頭わになった 過度のプレッシャーを与えるだけの社員管理!

会社は、85名に及ぶ社員がICカードを不正使用したとして監督責任を含め懲戒解雇4名、諭旨解雇1名の計119名の処分を行いました。私たちは、けっしてあってはならない事態で、看過できない問題であると考えます。

今回の問題は、会社の信頼と信用を著しく失墜させたことはもとより、現場の第一線で働く社員にとっては、ダイレクトで世間（乗客）の風当たりを受け、まさに針のむしろに座られるような苦渋にさらされることとなります。

当然、不正を行った社員のモラル・資質に問題はあることは否定できませんが、85名にも及ぶ社員ともなれば、ただ単に個人の問題では済まされることでなく「会社の異常な社員管理」にも問題があると考えられます。

具体的には、「リニア建設」に向けた徹底した効率化と、「命令と服従」による社員管理によって社員の働く意欲を低下させられた結果でもあると言えます。こうした問題に警鐘を鳴らす労働組合の存在を敵視していることも大きな問題のひとつでもあります。まさしく葛西会長の言う「経営は軍隊と同じだ。経営に民主主義はいらない」という言葉が全てを物語っています。

今回出てきた問題に対しては、結果、当該の関係社員の処分だけが明らかになっていますが、今回の処分の中に経営の最高幹部の処分がないことを見ても、現場の社員の目には会社の経営方針が正しいと理解することは出来ないと思います。

また、現場では前代未聞の事態にも拘わらず、社員に事態を知らせる掲示は、職場通路に設置している一般掲示に申し訳程度のA4用紙の掲示が出ているだけです。これまで一生懸命業務している社員の感情を逆撫でする「綱紀粛正の徹底について」と題した掲示は社員にプレッシャーかけるだけの許しがたいものです。乗客からの苦情については、現場社員に謝罪させる指示まで行いました。

ところで、今回、解雇を中心に多くの処分を受けた社員が所属した東海ユニオンはこの間、何か行動を起こしたのでしょうか？職場では事態を伝える情報・主張の掲示も出ていません。

「労働者の解雇」は明日から生活していく手段がなくなるということです。まさしく「死」を宣言されたことと同じです。私たちは、仲間の首を切られていて黙って見ない振りをしている労働組合は、何のために組合員から組合費を頂き、何のために存在しているのかを改めて考えるべきであると主張します。社員を育てるのは何も会社だけではありません。労働組合にも同時にその責任があります。

自己の利益だけを追求し組合員に対する責任を放棄するユニオン一部役員は直ちに辞めるべきです。

**お客様・世間に対して信頼・信用を回復させるには、
まずは会社経営陣の強権的社員管理を改めるべきです。**

経営陣が真摯に反省する姿勢は、「会社役員22名に対する報酬合計10億2600万円」を見直すことからはじまるのではないのでしょうか！？